



## 平成28年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成27年8月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ヒップ

コード番号 2136 URL <http://www.hip-pro.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 田中 吉武

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長

(氏名) 財津 秀明

TEL 045-328-1000

四半期報告書提出予定日 平成27年8月6日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	1,250	7.0	71	49.0	71	49.7	44	54.6
27年3月期第1四半期	1,169	12.5	48		47		29	

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 46百万円 (52.3%) 27年3月期第1四半期 30百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	11.29	
27年3月期第1四半期	7.30	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	3,313	1,532	46.3	385.63
27年3月期	3,479	1,534	44.1	385.92

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 1,532百万円 27年3月期 1,534百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期		0.00		12.00	12.00
28年3月期					
28年3月期(予想)		0.00		15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,559	10.4	176	68.6	175	67.8	107	69.2	27.03
通期	5,076	7.6	352	22.0	349	21.6	208	26.5	52.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注)詳細は添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	3,975,300 株	27年3月期	3,975,300 株
28年3月期1Q	59 株	27年3月期	59 株
28年3月期1Q	3,975,241 株	27年3月期1Q	3,975,241 株

#### 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しております。

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があることをご了解ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	9
(重要な後発事象) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の各種政策の推進により、円安や株高傾向が続き、国内景気は回復基調で推移しております。

このような状況のなか、当社グループの中核事業であるアウトソーシング事業においては、依然としてメーカーからの技術者要請は堅調に推移しており、旺盛な需要に対し、積極的なマッチングによる稼働率の向上を推進し、自動車関連を中心に展開が進みました。また4月にはこれまで未開拓であった広島への新規拠点の開設や拠点の統合を実施しており、より効率的かつ効果的な組織体制を構築し、営業体制及び採用体制の強化を図っております。その結果、当第1四半期連結累計期間における稼働率は、90.7%（稼働率(%) = 稼働技術者数 / 技術社員総数 × 100であり、期間の月末人数を累計した数値により算出しております。）となりました。新卒技術者の増加にともない期初稼働率が低下したことにより、前年よりも1.9ポイント減となりましたが、高い稼働率を維持しております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,250百万円（前年同期比7.0%増）、売上原価は1,002百万円（同6.2%増）、販売費及び一般管理費は176百万円（同0.2%減）、営業利益は71百万円（同49.0%増）、経常利益は71百万円（同49.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は44百万円（同54.6%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### アウトソーシング事業

当社の主要事業であるアウトソーシング事業におきましては、営業体制及び採用体制を強化のための組織を再構築し、稼働率の向上、優秀な技術者の採用に努めるとともに、技術料金の改善を推進した結果、前年同期に比べ稼働人員は増加し、技術料金も上昇いたしました。その結果、売上高は1,128百万円（同4.5%増）、営業利益は43百万円（同47.1%増）となりました。

#### S M O事業

S M O事業におきましては、得意とする皮膚科領域で被験者のエントリーが順調に進み、治験支援業務は好調に推移しました。その結果、売上高は122百万円（同36.2%増）、営業利益31百万円（同42.5%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### 資産・負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は3,313百万円となり、前連結会計年度末に比べ165百万円の減少となりました。

流動資産は1,741百万円となり、前連結会計年度末に比べ161百万円減少しております。

主な要因といたしましたは、現金及び預金が233百万円減少し、受取手形及び売掛金が54百万円増加したことによるものであります。

固定資産は1,572百万円となり、前連結会計年度末に比べ4百万円の減少となりました。主な要因といたしましたは、のれんの償却等により無形固定資産が3百万円減少したことによるものであります。

負債合計は1,780百万円となり、前連結会計年度末に比べ164百万円の減少となりました。主な要因といたしましたは、夏季賞与と支払いに伴い賞与引当金が110百万円減少、及び未払法人税等が69百万円減少したことにより、流動負債が169百万円減少し、固定負債が5百万円増加したことによるものであります。

純資産合計は1,532百万円となり、前連結会計年度末に比べ1百万円減少となりました。主な要因といたしましたは、親会社株主に帰属する四半期純利益44百万円及び前期配当金支払い47百万円により、利益剰余金が2百万円減少したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成27年5月14日付「平成27年3月期決算短信(連結)」にて発表いたしました業績予想に変更はありません。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には速やかに開示する予定であります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。 )、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。 )及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。 )等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58 - 2項(4)、連結会計基準第44 - 5項(4)及び事業分離等会計基準第57 - 4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,078,813	845,018
受取手形及び売掛金	658,052	712,787
仕掛品	34,902	34,060
繰延税金資産	99,327	99,327
その他	31,906	50,505
流動資産合計	1,903,003	1,741,698
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	492,296	495,062
減価償却累計額	153,874	157,477
建物及び構築物(純額)	338,422	337,584
車両運搬具	6,680	6,680
減価償却累計額	926	1,405
車両運搬具(純額)	5,753	5,274
工具、器具及び備品	39,240	39,240
減価償却累計額	34,360	34,967
工具、器具及び備品(純額)	4,880	4,273
土地	968,059	968,059
有形固定資産合計	1,317,115	1,315,192
無形固定資産		
のれん	106,095	102,779
その他	5,243	4,958
無形固定資産合計	111,338	107,738
投資その他の資産		
投資有価証券	7,004	7,004
繰延税金資産	90,961	90,152
その他	51,801	53,920
貸倒引当金	1,800	1,800
投資その他の資産合計	147,968	149,278
固定資産合計	1,576,423	1,572,209
資産合計	3,479,426	3,313,907

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	670,000	650,000
未払費用	318,910	385,052
未払法人税等	96,456	26,545
賞与引当金	236,700	126,652
その他	237,432	201,519
流動負債合計	1,559,499	1,389,769
固定負債		
退職給付に係る負債	281,942	285,220
役員退職慰労引当金	103,865	105,940
固定負債合計	385,807	391,160
負債合計	1,945,306	1,780,930
純資産の部		
株主資本		
資本金	377,525	377,525
資本剰余金	337,525	337,525
利益剰余金	843,331	840,506
自己株式	23	23
株主資本合計	1,558,358	1,555,533
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	24,238	22,555
その他の包括利益累計額合計	24,238	22,555
純資産合計	1,534,119	1,532,977
負債純資産合計	3,479,426	3,313,907

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	1,169,220	1,250,575
売上原価	944,108	1,002,210
売上総利益	225,112	248,364
販売費及び一般管理費		
役員報酬	23,787	19,665
給料及び賞与	69,678	71,316
賞与引当金繰入額	7,489	7,609
退職給付費用	863	907
役員退職慰労引当金繰入額	2,474	2,075
法定福利費	12,626	11,738
採用費	5,917	9,250
旅費及び交通費	3,191	3,342
支払手数料	18,737	21,037
地代家賃	12,176	8,099
減価償却費	975	1,638
のれん償却額	3,315	3,315
その他	15,771	16,674
販売費及び一般管理費合計	177,004	176,670
営業利益	48,107	71,694
営業外収益		
受取利息	94	101
受取配当金	50	50
受取手数料	445	521
未払配当金除斥益	396	427
その他	55	60
営業外収益合計	1,041	1,161
営業外費用		
支払利息	1,402	1,362
その他	4	-
営業外費用合計	1,406	1,362
経常利益	47,742	71,493
特別損失		
固定資産除却損	0	-
事務所移転費用	-	684
特別損失合計	0	684
税金等調整前四半期純利益	47,742	70,808
法人税等	18,707	25,930
四半期純利益	29,035	44,878
親会社株主に帰属する四半期純利益	29,035	44,878



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	29,035	44,878
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	1,530	1,682
その他の包括利益合計	1,530	1,682
四半期包括利益	30,565	46,560
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	30,565	46,560
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	アウトソーシ ング事業	S M O 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,079,459	89,761	1,169,220	-	1,169,220
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	1,079,459	89,761	1,169,220	-	1,169,220
セグメント利益	29,682	21,774	51,456	3,348	48,107

(注)1.セグメント利益の調整額 3,348千円は、セグメント間取引消去 33千円、のれん償却額 3,315千円  
であります。

2.セグメント利益は、四半期連結損益計算書計上額の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	アウトソーシ ング事業	S M O 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,128,282	122,292	1,250,575	-	1,250,575
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	1,128,282	122,292	1,250,575	-	1,250,575
セグメント利益	43,676	31,019	74,696	3,001	71,694

(注)1.セグメント利益の調整額 3,001千円は、セグメント間取引消去313千円、のれん償却額 3,315千円  
であります。

2.セグメント利益は、四半期連結損益計算書計上額の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。